

【日本版 C A B E を考える】実現に向けて何が必要か？

＜英国 C A B E 本部の建築家と共に議論を深める＞

定量的判断をベースとする日本の確認制度は、良質な建築・美しい街を創るという定性的な判断を取り入れることは難しいのが現状である。景観法はあるが様々な問題を抱え決定打とはなっていない。C A B E ケイブ (Commission for Architecture and the Built Environment) は 1999 年に英国で生まれた建築・まちづくり機構であり、良質な建築、美しい街づくりを目指し、審査 (デザインレビュー) や実現支援 (エヌエイブル)、教育と広報など様々な活動を行っている。日本にもこのような機構が必要との問題意識から日本版 C A B E 推進タスクフォースにおいて議論を重ね、J I A 横浜大会でもシンポジウムを実施し内容を深めている。今回、英国の C A B E 本部から建築家を招き、C A B E の特質を明らかにすると共に、日本において「良質な建築・まちづくり支援機構」の実現を目指して何が必要か？をテーマにシンポジウムを実施する。是非、多くの方のご参加をいただき、ディスカッションを深めて欲しい。

◆ C A B E のいう良質な建築・街

- ①建物や場が、その目的に合っており、持続可能であること
- ②周囲との関係性において適した場所での開発であること
- ③コミュニティ推進など、利用者のためにデザインされていること
- ④二酸化炭素排出を最小限に抑えるなど、環境に配慮されていること
- ⑤人々が楽しむことが出来、誇りを持てる場所、空間を創っていること



トーマス・ベンダー
(英国 C A B E 本部・建築家)



上浪寛

連健夫

赤羽吉人

坂井文

長島孝一

三井所清典

室伏次郎

芦原太郎

■日本建築家協会関東甲信越支部(建築・まちづくり委員会)主催シンポジウム【会場:札幌市教育文化会館305号室】

2013年 9月 6日(金) 9:30~12:00

アクセス:地下鉄東西線「西11丁目」1番出口から徒歩5分・バス「北1条西12丁目」から徒歩1分(札幌市教育文化会館OfficialHP; <http://www.kyobun.org/>)

■参加費:JIA会員:大会参加登録をお願いします(<http://www.jia-hok.org/hokkaido/hokkaido.html>)、会員外一般・学生:無料

■定員:80名(定員に達し次第、締切らせて頂きます)

■参加申込・問合せ

日本建築家協会 関東甲信越支部(大西)宛てに、①氏名 ②所属 ③連絡先 (TELまたは携帯でも可)を記入しFAXまたはE-mailにて
TEL:03-3408-8291 / FAX:03-3408-8294 / E-mail: mohnishi@jia.or.jp

■プログラム

- 9:30~ 主催者挨拶 上浪寛 (JIA 関東甲信越支部長)
- 9:35~ 主旨説明 連健夫 (建築・まちづくり委員会 委員長)
- 9:50~ C A B E の現在の活動 トーマス・ベンダー (英国 C A B E 本部、建築家) 通訳:後藤克史
- 10:20~ パネリスト①景観法における日本版C A B E の役割と可能性
赤羽吉人 (林魏建築設計事務所)
- 10:35~ パネリスト②建築まちづくりと日本版C A B E
坂井文 (北海道大学)
- 10:50~ パネリスト③コンペ支援における日本版C A B E の役割と可能性
長島孝一 (AUR 建築・都市研究コンサルタント)
- 11:05~ コメンテーター① 三井所清典 (アルセッド建築研究所)
- 11:10~ コメンテーター② 室伏次郎 (スタジオ・アルテック)
- 11:15~ ディスカッション
- 11:50~ まとめ 芦原太郎 (JIA 会長)

